

一般常識 算数—和差算—

1. 大小2つの数がある。その和は100で、差は20である。大の数はいくらか。
2. 大小2つの数がある。2数の平均は120で、差は60である。小の数はいくらか。
3. 大小2つの数がある。その和の半分は240で、その差の5倍は150である。大の数はいくらか。
4. 1000円をA君の方がB君より100円多くなるように分けたい。A君がもらえる金額はいくらか。
5. 兄と弟の持っているお金を合わせると2000円である。2人のお金の合計から2人のお金の差を引くと1600円になるという。兄が弟より多く持っているとする、兄の持っているお金はいくらか。
6. 姉と妹の持っているお金を合わせると1860円である。もし、姉が妹に200円あげると、2人の持っているお金は同じになる。姉がはじめに持っていたお金はいくらか。
7. A B C 3つの数がある。3つの数の合計は460で、AはBとCの和より60大きい。BとCの差は30である。Bの数はいくらか。
8. みかんより40円高いりんごがある。りんご5個とみかん5個を買うと700円である。りんご1個の値段はいくらか。
9. A B C 3つの数がある。3つの数の合計は460で、AからBを引くと30になり、AからCを引くと50になる。Cの数はいくらか。
10. 兄と弟が同じ場所から反対方向に歩くと、5分間で2人間の距離は650mになる。また、同じ方向に歩くと20分間で200mの差がつくという。兄が弟より速く歩くとすると、兄は分速何メートルで歩いているのか。

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

一般常識 算数—和差算— 解答

1. 大小2つの数がある。その和は100で、差は20である。大の数はいくらか。

$$(100+20) \div 2 = 60$$

2. 大小2つの数がある。2数の平均は120で、差は60である。小の数はいくらか。

$$120 \times 2 = 240 \quad (240 - 60) \div 2 = 90$$

3. 大小2つの数がある。その和の半分は240で、その差の5倍は150である。大の数はいくらか。

$$240 \times 2 = 480 \quad 150 \div 5 = 30 \quad (480 + 30) \div 2 = 255$$

4. 1000円をA君の方がB君より100円多くなるように分けたい。A君がもらえる金額はいくらか。

$$(1000+100) \div 2 = 550$$

5. 兄と弟の持っているお金を合わせると2000円である。2人のお金の合計から2人のお金の差を引くと1600円になるという。兄が弟より多く持っているとする、兄の持っているお金はいくらか。

$$2000 - 1600 = 400 \quad (2000 + 400) \div 2 = 1200$$

6. 姉と妹の持っているお金を合わせると1860円である。もし、姉が妹に200円あげると、2人の持っているお金は同じになる。姉がはじめに持っていたお金はいくらか。

$$(1860 + 400) \div 2 = 1130$$

7. A B C 3つの数がある。3つの数の合計は460で、AはBとCの和より60大きい。BとCの差は30である。Bの数はいくらか。

$$460 - (30 + 60 + 30) = 340 \quad 340 \div 4 = 85 \quad 85 + 30 = 115$$

8. みかんより40円高いりんごがある。りんご5個とみかん5個を買うと700円である。みかん1個の値段はいくらか。

$$700 \div (5 + 5) = 70 \quad 70 - 40 = 30$$

9. A B C 3つの数がある。3つの数の合計は460で、AからBを引くと30になり、AからCを引くと50になる。Cの数はいくらか。

$$(460 + 30 + 50) \div 3 = 180$$

10. 兄と弟が同じ場所から反対方向に歩くと、5分間で2人間の距離は650mになる。また、同じ方向に歩くと20分間で200mの差がつくという。兄が弟より速く歩くとすると、兄は分速何メートルで歩いているのか。

$$720 \div 5 = 144 \cdots 1 \text{ 分間の和} \quad 160 \div 20 = 8 \cdots 1 \text{ 分間の差} \quad (144 + 8) \div 2 = 76$$

① 60	② 90	③ 255	④ 550円	⑤ 1200円
⑥ 1130円	⑦ 115	⑧ 30円	⑨ 180	⑩ 76m